

平成29年3月3日

お取引先、
株主・投資家の皆様へ

株式会社 エスライン
代表取締役社長 山口嘉彦

東京証券取引所への上場承認について

本日3月3日、株式会社エスラインは、東京証券取引所より、市場第二部への上場承認をいただき、3月10日（金）に、晴れて、東京証券取引所に上場することになりました。
また、この上場の日、会社設立70周年にあたる記念すべき日とも重なり、この上ない喜びであります。

弊社のルーツは、1914年（大正3年）に岐阜市内で営んでいた馬車休憩所兼宿で生活物資の取扱いを行ったことに始まり、1928年（昭和3年）に山口友吉（現：山口社長の曾祖父）がスタートさせた、トラックによる集配を行う山口運送店が、現在のエスライングループの母体となっております。

その後、1938年（昭和13年）に岐阜トラック運輸株式会社が創立、その後、終戦による統合分離を経て、1947年（昭和22年）3月10日、初代山口軍治（現：山口社長の祖父）社長のもとで、資本金18万円、社員67名、車両30台をもって設立されスタートしました。

1958年（昭和33年）3月、初代山口軍治社長が急逝され、二代目山口軍治（現：山口社長の父）社長が就任、その若さと行動力と革新的な発想力で、以来、貨物運送事業を中心として全国配送に向けた輸送路線網の拡大に取り組み、エスライングループは飛躍的に発展し、1980年（昭和55年）4月には、名古屋証券取引所市場第二部に上場するまでになりました。

今日という日を迎えるにあたり、幾多の経済不況や大震災などに見舞われる困難な時期がありましたが、それを諸先輩方々はその都度苦境を乗り越え、現在の弊社の礎を築いて頂いたご努力は大変なものであったことと思います。

あらためて弊社を今日まで支えて頂きました先人、お取引先、株主・投資家を始めとする皆様に深く敬意と感謝を申し上げます。

弊社も、東証上場企業の一社となりました。

新たなステージへのスタートでありチャレンジです。

現在、エスライングループでは、2019年3月期を最終年度とする「中期経営計画」、

営業収益 500億円

経常利益 18億円

を策定し、これが達成のために、物流サービス開発センターを開設し、4つのワーキンググループ（WG）（輸送サービス・物流サービス・ホームサービス、引越サービス）を立ち上げ、具体的な行動計画の策定作業と実行に取り組んでおります。

『中期経営計画』の達成は、弊社グループにとり、大変高い目標となっております。しかしながら、この計画目標を何が何でも達成し、関係各位からの信頼を得ていくことが絶対的に必要であると考えております。

企業は永遠でなくてはなりません。

このエスライングループという企業を後世に引き継いでいくためにも、我々は新たなステージの中で、更なる飛躍と拡大を図らなければなりません。

先人の努力、意思に報いるためにも、これからは、我々が歴史を刻んでいく番であると、あらためて決意を致しております。

今後も東証上場企業としての社会的責任を果し、エスライングループの発展のために、グループ一丸となって取り組んで参りますので、お取引先、株主・投資家を始めとするご関係の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。